
K

V.W-PIECE.V

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

K

【NZコード】

N9274L

【作者名】

V・W・PIECE・V

【あらすじ】

野良の黒猫の勇敢な?話です。

(前書き)

BUMP OF CHICKEN の曲を文章にしてみました。
初作品です。
誤字などがあれば教えて下さい。
感想待つま～す。

俺は黒猫。名前はない。全身は真っ黒で尻尾は鍵みたいになつている。いわゆる鍵尻尾だ。

ある週末の大通りを俺は、威風堂々と歩いていた。人々は、その姿を忌み嫌い、こつものように石を投げてきた。

だけど、そんのはもうなれた。むしろ仲間を作つて思つやるなんて煩わしくて嫌だった。

そして、しばらく歩いていると俺は抱き上げられた。抱き上げたのは、若い絵かきだった。その絵かきは、優しく抱きながら、俺にこう言つた。

「やあ、素敵なおひびさん。僕らよく似てる。」

俺は、その言葉を聞いた瞬間腕の中をもがき、そして、必死で引っかいた。腕からでて絵かきから逃げ出した。孤独と言つ道に。生まれて初めての優しさと温もりが信じれなくて、走つた。けど、変わり者の絵かきは着いてきた。

俺は、その日から一度田の冬を絵かきと過ぐした。俺は、絵かきから名前をもらつた。くひき幸「Hōki Kure」ホーリー・ナイト

絵かきのスケッチブックは、俺の絵などでほとんどが黒づくめだつた。

俺は、初めての友達にしつき甘えた。

しかし、貧しい生活に絵かきは倒れた。絵かきは、最期に手紙を書いてこう言った。

「走つて、この手紙を届けてくれ！夢を見て家を飛び出した、僕の
帰りを持つ恋人へ」

……不吉な黒猫の絵なんて売れないのにあんたは、俺だけを描いて
くれた。その結果あんたは、冷たくなった。
手紙は確かに受け取つた：

雪の降る山道を俺は走つた。今は亡き親友、絵かきとの約束を口に
くわえて俺は、走つた。

道中俺に石を投げていた人々がいた。人々は、

「見ろよー・悪魔の使者だ！」

と言い石を投げてきた。

なんとでも呼ぶがいい！俺には、消えない名前があるからーー！

H o l l y N i g h t ! 聖なる夜と呼んでくれたー・優しさも温もりもすべてすべて詰め込んで！
呼んでくれたんだ！

人々に忌み嫌われていた俺にも意味があるとするならば、この日、
今日と言う日のために生まれてきたんだ！
だから、俺は、どこまでも走るーー！

俺は、たどり着いた。親友の故郷にたどり着いたんだ！親友の恋人

の家まで後数Kmだ！

俺は、走ったそして転んだ。俺は、立ち上がりうとしたが身体が既に満身創痍だった。そうしてる間にも、罵声と暴力が迫り来る。

—こんなことに負けるかー俺は、**H o l l y N i g h t**なんだ！
—

俺はちぎれそうな手足を引きずり走った。そして恋人の家を見つけた！！俺は、その家で倒れた。

それから、恋人は手紙を読み俺を優しく抱き上げ、名前(アルファベット)一つ付け加え庭に埋めてくれた。聖なる騎士となつた俺を埋めてくれた。

—FINE—

(後書き)

**最期は、黒猫がH o l l y N i g h t 聖なる夜からH o l l y
K n i g h t 聖なる騎士になつたといひ話（曲）です。**

聞いたことが無い人はぜひ聞いてみて下さい。

そして、BUMP OF CHICKENメンバーの方そのファンの方々こんな感じですみませんでしたm(—_—)m

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9274l/>

K

2010年10月20日19時40分発行